昭和58年
3月1日
第206号
発行所　津奈木町役場
編集企画課
印刷所　あすなろ印刷

町報 つなぎ

人口と世帯

（2月1日現在）
人　口6,279人(+11)
男　2,993人(+5)
女　3,286人(+6)
世　帯1,709世帯(-3)
( )内は前月との比較

最近の建設現場から
ほ場整備、水田に活路を
津奈木地区

本町の水田地帯といえば、大字津奈木、千代になるようだが、この地区の水田面積が約三五ha。この内、五七年度までに二四ha（六八%）が整備される。

今年度、基盤整備と取組んでいる倉谷の日野田と古中尾の芋川は、水田枚数四一〇枚が整備後は七一枚に減る。

あぜぬり、くるまり、の姿もこの地区では消える。

当然、労力も半減し、余った力を他の作物に向けることができ、農業経営が多角的になる要素もでてくる。

現には場整備された水田では、裏作に麦やメロン、アスパラなど作付けられ、未整備な田とは意欲に差が感じとれる。

きびしさを増す経済事情の中、積極的に土地基盤整備と取り組んだところの成張りを注目したい。

尚、五七年度の場整備事業概要は次のとおり、

・事業名　農用地利用増進特別対策事業

倉谷、日野田のほ場整備

・場所　日野田（倉谷）芋川（古中尾）

・事業費及び事業量など
八二九〇〇千円（国県補助六五%）、七・二ヘクタール
五十七年九月一日着工
五十八年三月末完工

消防点検

三月二十一日(月)
午前九時より
総合グラウンド

●行事内容

表彰伝達、規律審査等の観閲、ポンプ操法、放水競技など行ないますので、町民皆様の御声援をお願いします。

放水競技：頑張る婦人分団（昨年度）

消防関係受彰者

先月、本町から陸上自衛隊第八特科連隊（北熊本駐屯地）へ、町旗を寄贈いたしましたところ、隊長より御礼状をいただきました。

町旗御寄贈についての御礼
早春の候益々御清祥のことゝお慶び申し上げます。
さて私共第八特科連隊第二十七周年記念行事のため貴町旗の御寄贈をお願いいたしましたところ快よく御理解御引受いたゞき過日頂戴いたしました。心からお礼申し上げます。
記念日当日には記念式典パレード等へ配列し隊員及び家族に貴町との深い絆を紹介することができました。これも偏えに皆様の自衛隊に対する深い御理解と御支援の賜物と深く感謝申し上げます。
これを機会に貴町と益々親交を深めることができればと念願する次第です。
今後共変らぬ御支援御鞭撻の程をお願い申し上げますとともに貴町の益々の御発展を祈念致します。

敬具

昭和五十八年二月吉日
第八特科連隊第五大隊長
二等陸佐　川床　剛
津奈木町長
六車孝吉殿

津奈木町旗の紹介

（註）
第五大隊は、水俣芦北地区で、緊急の災害及び不測の事態が発生した場合に最初に出動・支援してくれる担当の部隊です。
本町から、第一係広報担当官として、開田惣市氏（赤崎出身）が活躍して居られます。

第二十七周年記念式典パレード：旗の順、水俣・津奈木・芦北・田浦

町旗を寄贈
第八特科連隊へ

消防関係受彰者

。号銀杯（三十五年以上勤続して退職した団員）
元第六分団班長　福田増雄
元第五分団員　前田克己

。号銀杯（十五年以上勤続して退職した団員）
元第六分団班長　浜田　亮
元第六分団員　福山俊光
元第六分団員　村上留義
元第六分団員　長浜安澄
元第四分団員　下田英生

感謝状
熊本県消防協会
元第六分団団長　長浜一男

元第六分団班長　上村　隆
元第六分団員　村上留義
元第六分団員　浜田　亮

。功績章
元第六分団班長　上村　隆
元第六分団員　長浜一男
元第六分団員　浜田　亮

。功績章
第一分団副団長　林田賀爾
第一分団班長　津々木貴雄
第一分団班長　林田吉廣
第一分団員　伊藤勝海
第一分団員　伊藤富男
第一分団員　吉野公敏
第三分団員　下川吉光
第四分団員　沢田正勝
第五分団副団長　門崎敬一
第五分団班長　坂本尚規
第五分団員　下川吉光
第五分団員　山路重保
第七分団班長　永田　弘
機動隊員　川野広美

。動績章
第四分団副団長　鳥居俊一
第四分団員　農山茂木
第七分団員　永松　茂
機動隊員　伊藤昭男

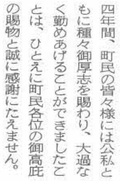
町長表彰
。三十五年以上勤続団員
第一分団長　諫山貫太郎

。三十年以上勤続団員
第三分団班長　福田　勉
第三分団班長　下川秀喜

。二十五年以上勤続団員
第一分団班長　松田信治
第二分団員　橋口末信
第三分団長　山口　敦
第七分団長　石田　勝

退職挨拶

前税務課長　伊藤　益夫



退任の御挨拶申し上げます。
此の度、私儀、二月末日をもって停年となり退職いたすこととなりました。
顧みますと、昭和二十三年四月記憶の新しい時期に採用され、以来三十四年間、町民の皆様には公私ともに種々御厚志を賜わり、大過なく勤めあげることができましたことは、ひとえに町民各位の御高庇の賜物と誠に感謝にたえます。
なんらお報いすることの無かったことをただただ慚愧に存じます。
退職後は一町民として、町発展の為、側面的協力をおしまないものであります。
退職にあたりまして、長い間の御厚情を深謝し、津奈木町の前途の限りない発展を祈念し、離任の挨拶と致します。
何卒、今後とも変わらぬ御交誼のほどを御願い申し上げます。

健康と運動

去る二月二十七日、水俣市中央公民館ホールにて第五回水俣市、芦北地区の「健康づくり合同大会」が開催されました。会示、熊本大学医療技術短期大学部教授唐津邦利先生の特別講演「健康と運動」があり、大変興味深いものでした。内容を紹介してみたいと思います。

中高年における運動の効果は、第一にボケ防止。第二に新陳代謝を促すことによる心臓や肺の老化防止。第三はストレスからの解放で、心豊かにいつも明るく振舞えるということです。

中高年の方が運動を行う場合、反動を使わずにゆっくりと行うことが大切です。一つの運動を約十秒間で行います。例えば、膝を曲げずに、上体を前に倒す運動は、ゆっくり約十秒間で指先が床につくように曲げます。適度な運動は運動後の脈拍が（百五十－自分の年齢）程度です。

普段からだを動かさずに食べている人、又、運動は行っているが偏った運動をしている人（農業をしている人等）は、無理をしない適度な運動を心構け、自分の健康を守っていきましょう。人間のからだは使えば使う程よくなります

保健婦　五嶋睦子

三月の行事

2日　民生委員会
4日　植樹祭（芦北町内の国有地）
6日　津奈木大保育園発表会（女善センター）
9日　第三選果場増設落成式
11日　定例町議会開会
13日　宣言タイム駅伝大会
14日　三種及び二種混合予防注射
17日　中学校卒業式
19日　町議立候補予定者説明会
　　幼稚園卒園式
21日　消防点検
25日　小学校卒業式
26日　保育園卒園式

町報つなぎ

「火の用心　心で用心　目で用心」春季火災予防運動

ニュージーランド視察記

農協長　吉本　一喜

日本の真冬の時期は一度真夏である。作物の収穫、植付に於いても全く反対である。中央の地理的条件を生かした輸出のあり方、農家経営の取組み等注目する点が多く、今後の対応についても検討せねばならない。

南緯34・48の間にある島国で総面積は日本の本州と九州を合せた位の国土であり、大部分は起伏に富んだ山岳地に、七五%が海抜二〇〇m以上の丘陵傾斜地で国全体が草地の感じで、まさに見事な草原が整然とした牧柵により区画され、放牧家畜群も自然と調和がとれた一大美観を展開している。

人口は現在約三〇〇万人で、その密度は一㎢に対し一一人（日本は二七〇人）と非常に少く、人口の七〇%は北島に居住している。

雨量は年間通じて日本より少いが、適度の雨量と共に夏、冬の気温の差が日本と比べて少く、草地は周年青々としていることが草地農業の基盤であり、南半球の海洋性気候に負うところが誠に大きい。

国土面積の三七%、九五〇万haが農用地及び草地となっており、平地には三〇万haの穀類、果樹、野菜（計一〇%）と少ないが、あとのほとんどは農用地として利用し、めん羊、肉牛、乳牛、馬、鹿等放牧に利用しての営農は、まさに畜産国ニュージランドの面目を示すものである。

比の様な土地利用の結果、世界でも有数の草地農業国であり、畜産のとりのウエイトが極めて高いオーストラリヤ、カナダとならんで「イギリスの海外農園」として発展して来ただけに先進的な国際性のある農業が営まれている。

然し、最近は農産物の余剰国だけにその対策と労働力の確保、国内賃金の開発、国際需要の動向、及び貿易赤字の問題、国の財政問題、インフレ対策等難問が山積しているようだ。

丁度、日本と反対の気候にあるのでその特性を生かし、野菜では南瓜、グリーンアスパラ、西瓜、メロン、玉葱、果樹ではキウイフルーツ等が輸出用として定着つゝあることは注目すべき事である。

今回、酪農家や耕種農業＋放牧畜産、野菜＋畜産、果樹専業（キウイ、ナシ、リンゴ）各農家六戸の訪問で感じたことは、二〇〇〇～二五〇〇万円所得の農家で税金が三〇%、肥料、油、農機、人件費（雇分）が残りの四五%でも八〇〇万～一〇〇〇万位の収入位と見た。

日本人の舌に合せた品種への取組がはっきり見られた。

視察した農家の一例

小さい農家三二町、エビス南瓜四町、キウイ四町、カラン五反、その他三・〇町、牧場二〇町に牛六〇頭（収入二〇〇〇万位）

生活は質素な住宅で、余り金をかけない。

食事は畜産物は豊富だが魚類は少く、日本より簡単である。

レジャーとスポーツは国民性で盛ん、衣類も質素でウール物が多い。

車は四割が日本製、家電、カメラ等は日本製が多い。

日本より関税が加わり、一五〇%位か。

福祉関係は日本より進んでおり、老後もゆったりと生活している。

但し、現今はインフレに悩んでおり、国の財政赤字は問題となりつゝある。

ニュージランドの四日間の旅でその他色々あるが紙面の都合あり省く。

然し、人間生活の原点を進んでいる社会構造、外国人にも人なつこく語りかける人情味の豊かさ、農業を中心とした生活の安定等々実にうらやましい感じがした。

日本もよい国だと思うが人間の生活になくてはならぬ物を維持し続けるであろう此の国の幸せを祈り、日本農業に多大の影響を与えつゝある草地農業と建国一〇〇年余にしてここまで開発したたくましい人間性に頭が下がる思いを残しながら、首都ウエリントンから空路、オーストラリヤに飛ぶ。

山の暴力団「猪」退治

本町の山林及び田畑を荒し、特に、栗、竹の子、甘藷、ミカン園に被害を与えている「猪」の退治は各方面からの要望でありましたが、十一月十五日から三月十五日までの狩猟期間中に、本町では、岩城及び福浜地区の鳥獣保護区内を特別許可を得て津奈木猟友会の方々で「猪」退治をしました。

結果、七頭をいとめ、芦北県事務所管区で一番の成績でした。

この作戦で最大級は150kgを越えた「オス」もあり、又、赤崎、平国方面の甘藷を荒した「猪」も退治しました。

二月十五日の猟期の最終日には本町の山々には、玉名、菊地、阿蘇、御船、甲佐、矢部、清和、中央、八代方面からの、猪狩りが多数来ましたが、一頭も発見出来なかった様で津奈木の「猪」は何処へ行ったのか、と頭をひねっていました。

私の知る今期の津奈木における「猪」の捕獲総数は二十五頭です。以上が猪捕獲作戦の戦果で、今年の農作物に与える「猪」の被害は激減し、農家の笑顔が見られるものと思って居ります。

尚、今後は土ハト、カラスの捕獲作戦に目を向けたいと思いますので、町民皆様方の協力を願いします。

記　坂口　義男

平国の甘藷荒し…70kgの猪

町議立候補予定者説明会開催

昭和五十六年四月二十四日執行の、津奈木町議会議員選挙、立候補予定者に対する説明会を

三月十九日
午前十時

公民館ホールで行ないます。

立候補予定者の方々や、推せん者は、是非出席して、説明を受けてください。

津奈木町選挙管理委員会

投票によって政治に参加しょう

昭和五十六年二月六日執行の、熊本県知事選挙の本町の投票率は六九・八二パーセントで、県内では十位の投票率でした。

本年は四月十日、熊本県議会議員選挙、四月二十四日、町議会議員選挙、六月参議院議員選挙と、次から次に選挙が行なわれます。

私達は投票によって直接政治に参加することができる大切な機会です。一人洩れなく投票するように致しましょう。

津奈木町選挙管理委員会

投票区	部落名	有権者数	投票者数	投票率	順位	投票	投票率
1	竹崎	179	126	7039	11	6610	
	染竹	206	146	7087	9		
	浜崎	240	151	6292	17		
	桜戸	208	135	6490	15		
	長尾	235	148	6298	16		
2	町中	133	102	7669	5	6903	
	新川	203	143	7044	10		
	古川	200	125	6250	19		
3	古尾	185	96	5189	20	6524	
	倉谷	212	163	7689	4		
4	内野	140	88	6286	18	71.53	
	上門	168	134	7976	2		
	川内	103	72	6990	12		
5	小津奈木	231	164	7100	8	7100	
6	大浦	359	265	7382	7	7382	
7	日当	395	271	6861	13	67.27	
	日都	381	251	6588	14		
8	平国上	207	165	7971	3	7500	
	辻	23	11	4783	21		
	平国下	370	274	7405	6		
	福浦	225	184	8178	1	8178	
	合計	4603	3214	6982		6982	

お知らせ

ボクらはつめたいのはへっちゃらだよ！
せんせいはどうなの
2月19日のあさ“ゆきだるま”づくりでした。
津奈木保育園

国民年金の保険料改正

国民年金の保険料は、現在五三〇円ですが、四月から五八〇円に引き上げられます。尚、附加年金は現在五六〇円が四月から六三〇円に引き上げられます。

国民年金は、農業、漁業、商業などの自営業の人、サービス業などの人と、その家族のための年金制度です。

加入者が年をとったり、障害者や母子世帯になったときに年金を支給し、生活の安定を図ることを目的としています。

国民年金の財政は、保険料と国の負担金、そして積立金の運用利子によってまかなわれています。

そこで、給付費が増大すれば、国も負担金を多くしますし、保険料も改められるわけです。

支払いに要する費用は、その三分の一を国が負担していますが、なんといっても、みなさんの納められる保険料が大半を占め最も重要なものとなっています。

これまでも段階的に少しずつ引きげられてきましたが、年金を支払うために必要とする保険料よりも低くおさえられてきました。

それは、国民年金が農業や商業、自由業、無職の方など幅広い方たちを対象としているため、加入者全員にいきなり高い保険料をというわけにはいきません。

このため、急激に負担が増えることを避けるために毎年少しずつ引きげる方法をとっているわけです。

保険料が引き上げられますと、家計のやりくりも大変になると思われますが、うっかりして納め忘れますと額も多くなり、ますます納めにくくなりますから保険料は納期限までに必ず納めましょう。

危険物取扱者保安講習

昭和五十八年三月十八日
水俣市（水俣市農協会館）
午前十時から午後四時まで
◎その他
詳しくは、水俣芦北消防組合（予防課三一一一九一）へお問い合せ下さい。

◎対象者
1.危険物取扱者で、免状取得日又は再講習受講日が昭和五十四年二月以前の者。
2.1以外の者で受講を希望する危険物取扱者。
◎期日及び場所

—献血ありがとう—

愛の献血運動に御協力ありがとうございました。

一月二十八日に実施しました献血状況は、次のとおりです。これからからも是非献血運動に御協力下さい。

区分	男	女	計
役場	20	8	28
農協	5	6	11
竹崎	1	6	7
染竹	2	2	4
浜崎	0	2	2
桜戸	3	0	3
町中	3	0	3
新川	0	2	2
古川	0	4	4
大浦	0	6	6
中尾	0	0	0
古尾	1	3	4
倉谷	0	2	2
内野	1	0	1
上門	1	0	1
川内	1	0	1
福浦	1	0	1
平国上	1	0	1
平国下	0	1	1
日当	4	1	5
日都	2	7	9
小津奈木	2	0	2
辻	2	0	2
町外	2	0	2
計	49	44	93

ご寄付お礼

津奈木町連合青年団では、かねてより募金箱を喫茶店シャレードに設置し募金活動をされておりますが、先日その貴重な浄財を津奈木町社協へ持参されました。社協としましては、丁度、NHK海外たすけ合い運動（日赤NHK共催）が展開されておりましたので、その方へ連合青年団名で寄付させていただきました。誠に有りがとうございました。貴連合青年団の発展を心より祈り申し上げます。

部落　世帯主　故人
古中尾　黒田祐吉　黒田玄吉
小津奈木　永松　真人　永松ネヲ

右のかたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

ご芳志お礼

交通事故巡回相談

県では、無料で巡回による交通事故相談を行います。

・日程
昭和五十八年四月二十二日
〃　六月十七日
〃　七月二十二日

・会場及び時間
県芦北事務所
午前十時三十分から午後四時まで。
（〇九六六八一二三一一一）